



平成24年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大庄
コード番号 9979 URL <http://www.daisvo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統括本部長
四半期報告書提出予定日 平成24年4月12日

(氏名) 平 辰
(氏名) 水野 正嗣
配当支払開始予定日

TEL 03-5764-2229
平成24年5月21日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (金融機関、機関投資家、アナリスト、マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第2四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第2四半期	39,114	△3.6	1,014	—	898	—	620	—
23年8月期第2四半期	40,556	△3.7	△575	—	△662	—	△1,736	—

(注) 包括利益 24年8月期第2四半期 615百万円 (—%) 23年8月期第2四半期 △1,723百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第2四半期	30.77	—
23年8月期第2四半期	△97.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年8月期第2四半期	51,785	26,245	50.4	1,261.58
23年8月期	52,069	25,145	48.0	1,243.77

(参考) 自己資本 24年8月期第2四半期 26,095百万円 23年8月期 24,980百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	—	10.00	—	6.00	16.00
24年8月期	—	5.00	—	—	—
24年8月期(予想)	—	—	—	6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,800	△1.8	2,070	—	1,830	—	820	—	40.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) _____、除外 2社 (社名) 株式会社イズ・プランニング
株式会社壽司岩

詳細は、添付資料3ページ【2.サマリー情報(その他)に関する該当事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動】をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年8月期2Q	21,198,962 株	23年8月期	21,198,962 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年8月期2Q	514,368 株	23年8月期	1,114,274 株
----------	-----------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年8月期2Q	20,160,486 株	23年8月期2Q	17,874,784 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年9月1日から平成24年2月29日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により企業の生産活動や個人消費に緩やかな回復傾向が見られたものの、欧州の債務危機問題などを背景とした海外景気の減速や長引く円高等により、依然として先行き不透明な状況下で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは「飲食事業における収益力の早期回復」を最重点経営課題として認識し、既存店舗対策の強化、昼営業や宴会営業の強化、業態戦略の再構築、MD（マーチャンダイジング）戦略の更なる強化、販売促進策の見直し、店舗オペレーションの改善策などに取り組みました。また、9月1日付で飲食事業を営む100%子会社である、株式会社イズ・プランニング及び株式会社壽司岩を当社に吸収合併いたしました。このグループ店舗網の集約化により、グループ店舗組織体制を刷新するとともに間接部門を中心とした大幅なコスト削減を図りました。

一方、店舗展開においては当社グループで新規出店を2店舗、店舗改装（業態転換を含む）を14店舗、店舗閉鎖を10店舗で行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ3.6%減少の39,114百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、当社グループの既存店売上高が対前年比104.8%と公表計画（101.6%）を上回って好調に推移しましたが、前期に95店舗の店舗閉鎖を行ったことが大きく影響したため、売上高は前年同期比4.4%減少の34,306百万円となりました。

卸売事業につきましては、鮮魚卸売子会社の外部に対する売上が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ10.2%減少の1,714百万円となりました。

不動産事業につきましては、賃借店舗物件の転貸が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ8.4%増加の455百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、前年同期に比べ7.0%増加の202百万円となりました。

その他事業につきましては、物流子会社が行うグループ外部取引先への配送業務が増加したこと等により、前年同期に比べ13.9%増加の2,436百万円となりました。

一方、利益面につきましては、既存店売上高の好調に加えて、前期に行った大規模なリストラクチャリングによる収益改善や子会社吸収合併によるコスト削減効果等もあって、前年同期に比べて大幅改善となり、営業利益は1,014百万円（前年同期は営業損失575百万円）、経常利益は898百万円（前年同期は経常損失662百万円）となりました。

また、前年同期に計上した資産除去債務に係る特別損失がなくなったことなどにより、四半期純利益は620百万円（前年同期は四半期純損失1,736百万円）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は14,482百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,621百万円増加となりました。これは、現金及び預金が1,971百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は37,302百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,906百万円減少となりました。これは、減価償却が進んだこと等により有形固定資産残高が1,277百万円減少したことや敷金及び差入保証金が840百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は13,547百万円となり、前連結会計年度末に比べて464百万円減少となりました。これは、1年内償還予定の社債が620百万円増加したことに対し、未払金が506百万円減少したことや買掛金が292百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は11,992百万円となり、前連結会計年度末に比べて920百万円減少となりました。これは、長期借入金が595百万円減少したことやリース債務が272百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は26,245百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,099百万円増加となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が402百万円増加したことや、自己株式600千株を第三者割当て処分したことにより自己株式が702百万円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,971百万円増加の10,396百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,793百万円の資金収入(前年同期は1,095百万円の資金収入)となりました。収入の主な内訳は減価償却費1,305百万円及び税金等調整前四半期純利益694百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、38百万円の資金収入(前年同期は2,333百万円の資金支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出503百万円等に対し、閉店に伴う敷金及び保証金の回収による収入745百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、140百万円の資金収入(前年同期は1,721百万円の資金収入)となりました。これは主に、長期借入金の純減少額655百万円の支出に対し、自己株式の処分による収入605百万円及び社債の発行による収入591百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月14日に公表した業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日発表の「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において連結子会社でありました株式会社イズ・プランニング及び株式会社壽司岩は、平成23年9月1日付で当社が吸収合併したため、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,472	10,444
売掛金	2,218	2,235
商品及び製品	470	466
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	190	199
繰延税金資産	567	438
その他	1,179	957
貸倒引当金	△238	△260
流動資産合計	12,860	14,482
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,352	9,445
機械装置及び運搬具(純額)	268	273
工具、器具及び備品(純額)	966	825
土地	9,311	9,311
リース資産(純額)	1,920	1,683
建設仮勘定	1	4
有形固定資産合計	22,821	21,544
無形固定資産		
借地権	913	913
リース資産	40	33
その他	152	175
無形固定資産合計	1,105	1,122
投資その他の資産		
投資有価証券	150	159
出資金	6	6
長期貸付金	62	57
差入保証金	8,391	8,021
敷金	4,866	4,395
繰延税金資産	1,623	1,817
その他	418	405
貸倒引当金	△238	△227
投資その他の資産合計	15,281	14,635
固定資産合計	39,208	37,302
資産合計	52,069	51,785

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,345	2,053
短期借入金	3,975	3,995
1年内返済予定の長期借入金	2,364	2,303
1年内償還予定の社債	55	675
リース債務	539	542
未払金	3,049	2,543
未払法人税等	245	236
未払消費税等	199	304
賞与引当金	174	191
株主優待引当金	89	89
店舗閉鎖損失引当金	148	37
訴訟損失引当金	78	78
資産除去債務	237	41
その他	507	454
流動負債合計	14,011	13,547
固定負債		
社債	3,867	3,820
長期借入金	4,001	3,406
リース債務	1,613	1,340
退職給付引当金	1,156	1,157
役員退職慰労引当金	523	498
受入保証金	607	610
資産除去債務	1,110	1,137
その他	31	21
固定負債合計	12,912	11,992
負債合計	26,924	25,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,626	8,626
資本剰余金	9,908	9,908
利益剰余金	8,141	8,543
自己株式	△1,304	△602
株主資本合計	25,370	26,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	56
土地再評価差額金	△436	△436
その他の包括利益累計額合計	△390	△380
少数株主持分	164	150
純資産合計	25,145	26,245
負債純資産合計	52,069	51,785

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
売上高	40,556	39,114
売上原価	14,408	13,825
売上総利益	26,147	25,289
販売費及び一般管理費	26,723	24,274
営業利益又は営業損失(△)	△575	1,014
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
その他	42	49
営業外収益合計	45	52
営業外費用		
支払利息	98	87
貸倒引当金繰入額	0	2
その他	33	78
営業外費用合計	132	169
経常利益又は経常損失(△)	△662	898
特別利益		
固定資産売却益	5	5
貸倒引当金戻入額	13	—
賞与引当金戻入額	60	—
受取補償金	47	108
特別利益合計	126	114
特別損失		
固定資産売却損	0	4
固定資産除却損	183	72
店舗関係整理損	27	38
減損損失	490	202
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	697	—
特別損失合計	1,400	317
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,936	694
法人税、住民税及び事業税	166	150
法人税等調整額	△374	△62
法人税等合計	△208	87
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,728	606
少数株主利益又は少数株主損失(△)	8	△13
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,736	620

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,728	606
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	4	9
その他の包括利益合計	4	9
四半期包括利益	△1,723	615
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,731	629
少数株主に係る四半期包括利益	8	△13

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△1,936	694
減価償却費	1,592	1,305
減損損失	490	202
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	697	—
受取利息及び受取配当金	△3	△2
支払利息	98	87
固定資産除却損	183	72
有形固定資産売却損益（△は益）	△4	△0
売上債権の増減額（△は増加）	179	△17
たな卸資産の増減額（△は増加）	41	△5
仕入債務の増減額（△は減少）	△434	△292
未払消費税等の増減額（△は減少）	59	104
その他	392	△128
小計	1,359	2,019
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△97	△87
法人税等の支払額	△171	△159
法人税等の還付額	2	16
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,095	1,793
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,506	△503
敷金及び保証金の差入による支出	△20	△3
敷金及び保証金の回収による収入	269	745
貸付けによる支出	△2	△4
その他	△73	△194
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,333	38
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△810	20
長期借入れによる収入	1,445	580
長期借入金の返済による支出	△1,328	△1,235
社債の発行による収入	—	591
自己株式の処分による収入	2,860	605
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△261	△121
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	△183	△297
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,721	140
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	483	1,971
現金及び現金同等物の期首残高	7,241	8,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,724	10,396

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年9月1日至平成23年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	35,900	1,909	419	188	38,418	2,138	40,556	—	40,556
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13	6,263	381	—	6,658	637	7,296	△7,296	—
計	35,914	8,172	800	188	45,076	2,775	47,852	△7,296	40,556
セグメント利益又は損失 (△)	△102	301	155	110	466	42	508	△1,084	△575

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,084百万円には、のれんの償却額△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,090百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において362百万円であります。

「不動産事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において128百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	34,306	1,714	455	202	36,678	2,436	39,114	—	39,114
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	5,802	261	—	6,070	535	6,606	△6,606	—
計	34,313	7,517	716	202	42,749	2,971	45,721	△6,606	39,114
セグメント利益	1,486	358	121	160	2,127	19	2,146	△1,132	1,014

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,132百万円には、セグメント間の取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,137百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において152百万円であります。

「不動産事業」セグメントにおいて、所有不動産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において46百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年2月7日を払込期日とする第三者割当による自己株式の処分をアサヒビール株式会社との間で実施いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金が97百万円減少するとともに、自己株式が702百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が8,543百万円、自己株式が602百万円となり、株主資本合計は26,476百万円となっております。

以上